



19 鯨建第 26 号
平成 19 年 5 月 7 日

国土交通省道路局長 殿

鯨ヶ沢町長 長谷川 兼己



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

平成 19 年 4 月 2 日付け国道企第 114 号で依頼のあったこのことについて、
別紙のとおり提出します。

担当	建設課	工藤
	内線	240

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策は、次のように考えます。

- ① 地域経済の活性化を図るための高速道路の整備
- ② 地域間交流等を図るための主要都市とを結ぶ幹線道路の整備
- ③ 災害対策や救急搬送等の円滑化を図るための道路整備
- ④ 地域の実情にあった道路整備（除雪対策など）
- ⑤ 歩道整備とバリアフリー対策

2. 徹底した効率化のためには、次の事を重視すべきと考えます。

事業実施には、総論で賛成でも各論に入ると地権者などから反対を唱えることも少なくないことから、当事者との濃密な対策や協議が必要と考えます。そのことによって、早期着工・期間の短縮・コスト削減につながることを思います。

3. 全般的な意見として、次のことに配慮していただきたいと考えます。

「地域再生」には道路整備は必要不可欠であり、そのためにも後発地域への重点配分を望んでおります。